

2 中学校

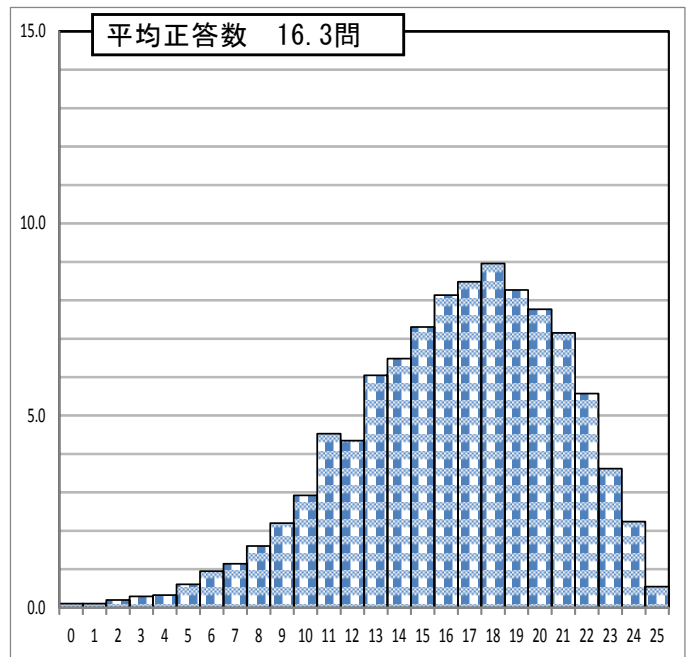
(1) 国語

【第1学年】

実施生徒数	10,851 人
設問数	25 問
平均正答率	65.4 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	21	66.2
	主として「活用」	4	60.9
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	2	37.6
	書くこと	1	61.9
	読むこと	7	64.1
	伝統的な言語事項と国語 の特質に関する事項	17	67.1
評価の 観点	話す・聞く能力	2	37.6
	書く能力	1	61.9
	読む能力	6	64.4
	言語についての 知識・理解・技能	16	69.4
問題形式	選択式	15	66.4
	短答式	9	64.1
	記述式	1	61.9

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



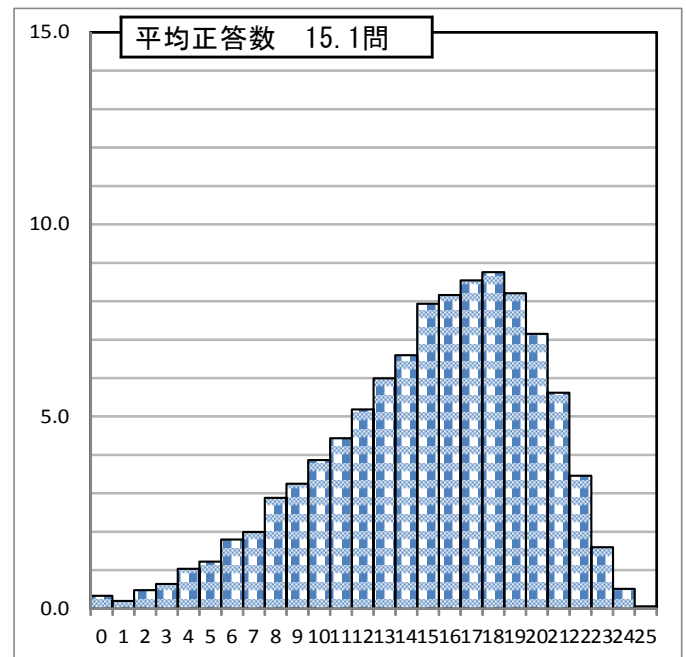
(全ての設問を実施した生徒について算出)

【第2学年】

実施生徒数	10,976 人
設問数	25 問
平均正答率	60.3 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	19	63.1
	主として「活用」	6	51.5
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	2	55.0
	書くこと	3	48.8
	読むこと	12	49.9
	伝統的な言語事項と国語 の特質に関する事項	11	72.6
評価の 観点	話す・聞く能力	2	55.0
	書く能力	3	48.8
	読む能力	9	50.3
	言語についての 知識・理解・技能	11	72.6
問題形式	選択式	6	70.3
	短答式	17	57.2
	記述式	2	56.4

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 1・2年生において、文脈に即して漢字を正しく読んだり書いたりすることについては、相当数の生徒ができている。
 - ・「導^{みちび}き」(中1[3]ー3 : 92.7%)、「やさ(優)しく」(中1[1]ー3 : 80.5%)
 - ・「わら(笑)った」(中2[1]ー1 : 98.0%)、「家来^{けらい}」(中2[1]ー2 : 94.3%)
- 1年生において、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことについては、相当数の生徒ができている。
 - ・慣用句の使い方「手を焼く」(中1[2]ー2 : 83.3%)
H28 中3 全国調査52.1%「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」
 - ・ことわざの意味「石の上にも三年」(中1[2]ー4 : 82.8%)
- 1年生において、字形を整え、文字の大きさ、配列に注意して書くことについて、改善の傾向が見られる。(中1[2]三 : 76.0%)
H28 中3 全国調査52.1%「文字の形や大きさ、配列に注意して書く」
- 1年生において、主語と述語との関係を適切に捉えることに課題が見られる。
 - ・文の構成を理解し、主語を捉えること (中1[2]四 : 45.1%)
 - ・主語と述語との関係を適切に捉えて話すこと (中1[3]四 (1) : 29.3%)
- 2年生において、文章や描写に着目して登場人物の心情を読み取ることに課題が見られる。(中2[1]四 : 19.5%)
- 2年生において、説明的な文章を正確に解釈することに課題が見られる。
 - ・必要な情報を的確に読み取ること (中2[3]四 : 34.8%)
 - ・前後の段落に注意しながら必要な情報を的確に読み取ること
(中2[3]五 : 29.0%)
 - ・必要な情報を読み取り、該当するものを選ぶこと (中2[3]六 : 50.3%)
- 条件に即応して記述することに課題が見られる。
 - ・資料から必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くこと
(中1[4]三 : 61.9%)
 - ・読み取った情報を条件に合うように的確に表現すること (中2[4]四 : 33.6%)
 - ・自分の立場を決め、理由を適切に説明すること (中2[4]五 : 56.0%)

H28 中3 全国調査70.6%「文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く」

H28 中3 全国調査 59.4%「本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く」

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

国語【中学校 1、2 年生】

(中学校 1 年生)

- 主語と述語との関係を適切に捉えることに課題が見られる。

- 山田さんの発言の中で、主語と述語の関係が間違っている一文がある。その一文の主語を変えずに正しい表現に直しなさい。

山田 「(略) 筆者は独特なものを見方をしている文章だね。」

【正答例】 筆者は独特なものを見方をしているね。

中 1 : 2 9 . 3 %

(中学校 2 年生)

- 文章や描写に着目して登場人物の心情を読み取ることに課題が見られる。

- 「その言葉をまんじゅうといっしょにのみこんだ」とあるが、なぜ、「ぼく」はその言葉を言わなかったのかを考え、「～と気づいたから。」に続くように、20 字以内で答えなさい。

【正答例】 その人が亡くなっているかもしれない (と気づいたから。)
(19 字)

中 2 : 1 9 . 5 %

- 条件等に即応して記述することに課題が見られる。

- 河本さんは、「クの資料」から、はなっこりーのよいところを読み取れていません。「クの資料」から分かる、はなっこりーのよいところを答えなさい。

ク 9 月頃からは、涼しい山口市阿東町や岩国市錦町、美祢市などで栽培され、冬場は温暖な山口市や宇部市、下関市などで栽培され、5 月まで出荷されている。

【正答例】 夏の 3 か月以外の期間、県内各地で栽培できるところ。

中 2 : 3 3 . 6 %

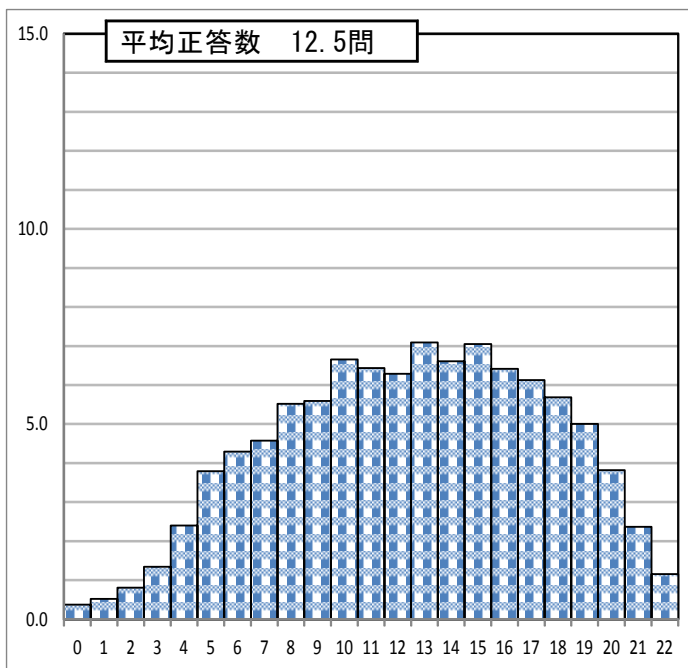
(2) 数学

【第1学年】

実施生徒数	10,828 人
設問数	22 問
平均正答率	56.9 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	16	64.0
	主として「活用」	6	37.2
学習指導 要領の 領域等	数と式	10	54.7
	図形	5	55.0
	関数	4	58.7
	資料の活用	3	63.3
評価の 観点	数学的な見方や考え方	6	37.2
	数学的な技能	8	49.5
	数量や図形などについての 知識・理解	8	72.3
問題形式	選択式	6	65.8
	短答式	15	54.3
	記述式	1	37.2

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



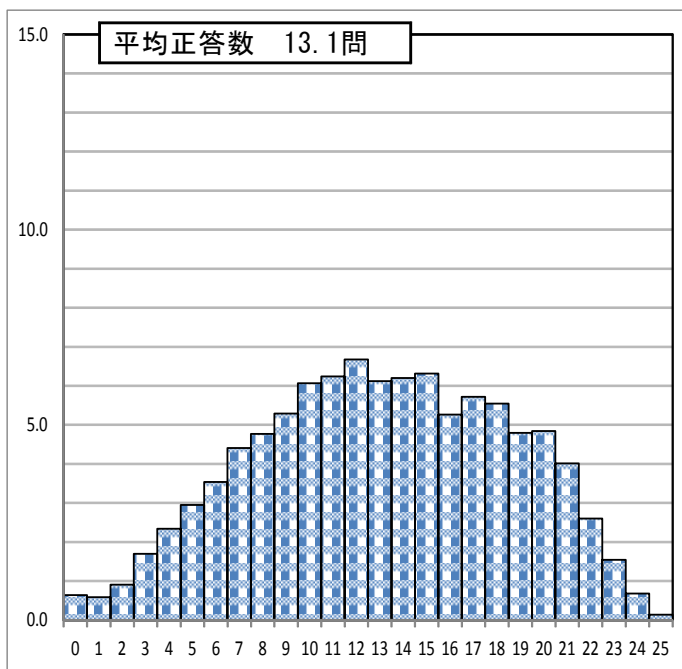
(全ての設問を実施した生徒について算出)

【第2学年】

実施生徒数	10,973 人
設問数	25 問
平均正答率	52.3 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	19	60.8
	主として「活用」	6	25.4
学習指導 要領の 領域等	数と式	14	57.4
	図形	6	47.4
	関数	4	46.0
	資料の活用	1	35.7
評価の 観点	数学的な見方や考え方	6	25.4
	数学的な技能	12	58.3
	数量や図形などについての 知識・理解	7	65.0
問題形式	選択式	10	56.9
	短答式	13	51.9
	記述式	2	31.6

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 基本的な内容の理解には、おおむね成果が見られる。
 - ・直方体を構成する面について理解すること（中1 4(1) : 86.9%、中2 5(1) : 87.8%）
 - ・表から2つの数量の関係をとらえること（中1 5(2) : 87.8%）
 - ・度数分布表から正しく情報を読み取ること（中1 6(1) : 82.6%）
 - ・度数分布表から最頻値の属する階級を求めること（中1 6(2) : 91.4%）
 - ・正の数と負の数の意味を実生活の場面に結びつけて理解すること（中2 1(4) : 88.3%）
 - ・連立方程式の立式の際に、着目する必要がある数量を見いだすこと（中2 3(3) : 89.6%）

- 基本的な内容の一部については、理解に課題が見られる。
 - ・自然数の意味を理解すること（中1 1(3) : 62.9%、中2 1(3) : 41.4%）
 - ・一次関数の表から変化の割合を求めること（中2 6(2) : 45.8%）
 - ・反比例のグラフから x と y の関係を示した表を選ぶこと（中2 6(3) : 46.3%）
 - ・度数分布表から相対度数を求めること（中2 7 : 35.7%）
 - ・基準量と比較量の関係を理解すること（中1 2(3) : 64.2%、中2 2(4) : 64.6%）

- 文字を用いた式で表すことに課題が見られる。
 - ・数量の関係を文字式で表すこと（中1 2(2) : 34.2%、中2 2(2) : 32.4%）
 - ・事象を数学的にとらえ、文字式で表すこと（中2 11(1) : 7.4%）

- 知識や技能を活用して問題を解決することに課題が見られる。
 - ・具体的な場面で、絶対値や正の数・負の数を使った計算をすること（中1 7(1) : 47.3%）
 - ・指定されたルールの中で、正の数・負の数の計算を活用すること（中1 7(2) : 31.9%）
 - ・具体的な場面で、最適な概数を考察し、問題解決に活用すること（中1 8(1) : 15.9%）
 - ・単位量当たりの大きさを用いて全体の個数を求めること（中1 8(3) : 42.7%）

- 基本的な図形の作図や計算などに課題が見られる。
 - ・角の二等分線の作図について理解すること（中2 4 : 45.9%）
 - ・円周の長さから直径を求めること（中2 5(2) : 44.8%）
 - ・正四角錐の体積を求めること（中2 5(3) : 39.0%）
 - ・事象の中の図形的な特徴を読み取ること（中2 10(2) : 44.6%）

- 与えられた情報を正確に読み取り、筋道を立てて考えることに課題が見られる。
 - ・説明の筋道を読み取り、角の性質を使って説明を完成させること（中1 9(2) : 42.3%）
 - ・情報を読み取り、事象を数学的に解釈すること（中2 10(1) : 22.0%）
 - ・必要な情報を読み取り、数学的に解決すること（中2 11(2) : 15.3%）

- 日常的な事象を数学的に解釈して説明することに課題が見られる。
 - ・情報や図をもとに、角の大きさを使って図形の性質を説明すること（中1 9(1) : 37.2%）
 - ・式の意味を読み取って計算し、予想が正しいことを説明すること（中2 8 : 31.0%）
 - ・2つの数量の変化の表から段差の高さを求め、その理由を説明すること（中2 9 : 32.2%）


正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

数学【中学校1年生】

- 情報や図をもとに、角の大きさを使って図形の性質を説明することに課題が見られる。

9 緑化委員のかなたさんとゆうきさんは、図1のような縦5m、横10mの長方形の花だんの周りに柵をつくろうと考えています。柵は花だんの周りから1mはなれたところにつくり、角も円をえがき、1mはなすことにしています。



かなたさん 「花だんより1mはなれたところに柵をつくると、柵全体の長さは花だんの周りの長さより何m長くなるかな？」

ゆうきさん 「花だんの4つの辺のところには長方形ができるから、4つの直線部分の柵の長さはそれぞれ縦は5m、横は10mだと考えるよ。」

かなたさん 「柵の直線部分を合わせると、花だんの周りの長さと同じになるということだね。」

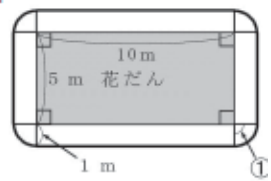
ゆうきさん 「そうすると、柵は角にある4つの曲線部分を合わせた長さだけ花だんの周りの長さより長くなるということになるね。」

かなたさん 「じゃあ、曲線部分を合わせると、何mになるのかな？」

ゆうきさん 「4つの曲線部分を合わせると、半径1mの円周と等しくなるよ。」

(1) ゆうきさんが、「4つの曲線部分を合わせた長さは半径1mの円周と等しい」と考えた理由を、次の図1の①の角の大きさに注目して説明しなさい。

【正答例】花壇の一つの角の周りの角は 360° で、長方形の花壇の一つの角は 90° 、花壇と柵の間も長方形だから①は 90° になる。4つの曲線部分を集めると集まった角は 360° で円1つ分となるから、半径1mの円周と等しいと考えた。



中1：37.2%

【中学校1・2年生】

- 自然数の意味を理解することに課題が見られる。

(3) 次のア～オの数の中から自然数をすべて選び、記号で答えなさい。

ア 0
イ -2.8
ウ 5
エ -6
オ 6

【正答】ウ オ

中1：62.9% 中2：41.4%

- 数量の関係を文字式で表すことに課題が見られる。

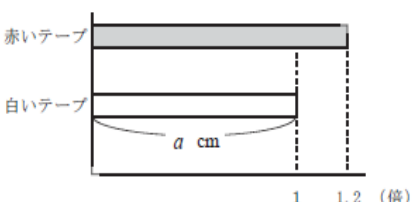
(2) ある数を5で割ると、商が a で余りが3になります。ある数を a を用いた式で表しなさい。

【正答】 $5a+3$

中1：34.2% 中2：32.4%

- 基準量と比較量の関係を理解することに課題が見られる。

(3) 次の図のように白いテープをもとにして、赤いテープの長さを表しました。赤いテープの長さを表す式を、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。



ア $a+0.2$
イ $a-0.2$
ウ $a \times 1.2$
エ $a \div 1.2$

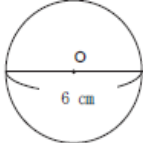
【正答】 ウ

中1：64.2% 中2：64.6%

【中学校2年生】

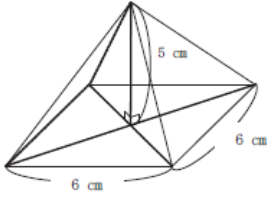
● 基本的な図形の計算に課題が見られる。

(2) 次の図の円周の長さを求めなさい。
ただし、円周率は π とします。



【正答】 6π cm

(3) 次のような正四角錐の体積を求めなさい。



【正答】 60 cm³

中2 : (2) 44.8% (3) 39.0%

● 式の意味を読み取って計算し、予想が正しいことを説明することに課題が見られる。

8 かずおさんは、ある2けたの正の整数と、その数の一の位と十の位を入れかえた数との差が、どんな特徴をもつ数であることを考えています。

2けたの正の整数が、
 61のとき $61 - 16 = 45$
 23のとき $23 - 32 = -9$
 85のとき $85 - 58 = 27$

これらの関係から、かずおさんは、次のことを予想しました。

【予想】
 2けたの正の整数と、その数の一の位と十の位を入れかえた数との差は、9の倍数になる。

かずおさんの予想が正しいことの説明を完成させなさい。

【説明】
 ある2けたの正の整数の十の位の数を x 、一の位の数を y とする。
 2けたの正の整数は、 $10x + y$
 十の位の数と一の位の数を入れかえた数は、 $10y + x$
 と表される。
 したがって、その2数の差は、

$$(10x + y) - (10y + x)$$

【正答例】

$$(10x + y) - (10y + x)$$

$$= 9x - 9y$$

$$= 9(x - y)$$

x, y は整数なので、 $x - y$ は整数どうしの差となり、整数。

よって、 $9(x - y)$ は、 $9 \times$ 整数となり、9の倍数。

したがって、予想は正しい。

中2 : 31.0%

● 事象を数学的にとらえて文字式で表すことや、必要な情報を読み取って数学的に解決することに課題が見られる。

11 6チームでサッカーのリーグ戦（総当たり戦）を行い、次の順位の決め方のルールにより、順位を決めることにしました。
このとき、次の(1)、(2)に答えなさい。

【順位の決め方のルール】

- ① 1試合ごとに、勝つとそのチームに勝点3、引き分けると両チームに勝点1が入る。(負けると勝点は0とする。)
- ② 順位は、勝点 → 得失点差 → 順位を決めるチーム間の対戦成績 → 得失点の優先順番で決まる。
- ③ 全く結果が等しくなった場合は、抽選をして決める。

最終戦のC対Fの1試合を残して、次のような試合結果になりました。

	A	B	C	D	E	F	勝点	勝	敗	引	差	位
A	○	△	○	●	△	○	8	2	1	2	+1	
B	●	○	○	●	●	●	3	1	4	0	-4	6
C	△	●	○	○	△	△	5	1	1	2	-1	
D	○	○	○	○	○	△	8	2	1	2	+2	
E	●	○	○	△	○	●	5	1	2	2	-1	
F	△	○	○	△	○	○	8	2	0	2	+3	

【リーグ戦の結果の見方】

○…勝ち、●…負け、△…引分、差…総得点と総失点の差、位…順位
 (例：Aチームの結果)
 Bには3-1で勝ち、Cには1-1で引き分け、Dには0-2で負け、
 Eには3-2で勝ち、Fには0-0で引き分け となるので
 総得点は $3 + 1 + 0 + 3 + 0 = 7$ 、総失点は $1 + 1 + 2 + 2 + 0 = 6$

(1) 5試合を行ったうち、勝ちが a 試合、負けが b 試合、残りの試合は引き分けだった場合の勝点を、 a, b を使って表しなさい。

(2) Cチームは、残った試合を勝っても1位になれるとは限りません。確実に1位になるためには、少なくとも何点差をつけて勝つ必要がありますか。

【正答】(1) $2a - b + 5$

【正答】(2) 少なくとも 3 点差

中2 : (1) 7.4% (2) 15.3%

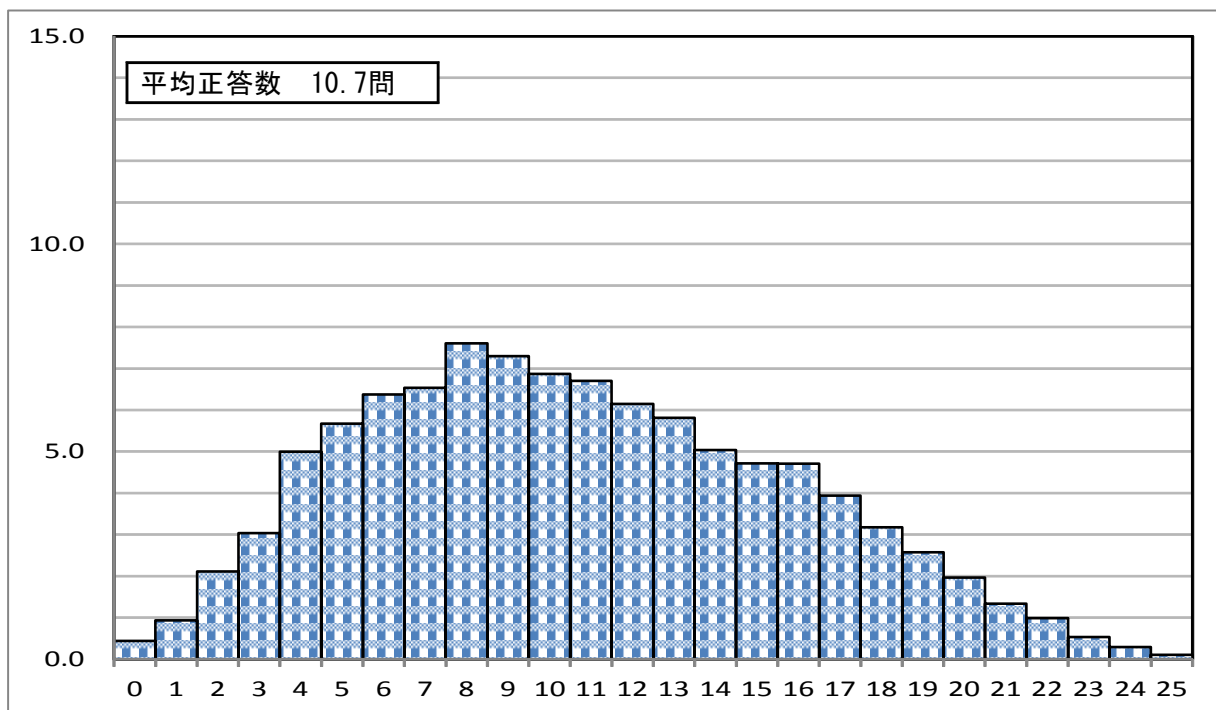
(3) 社会

【第2学年】

実施生徒数	10,982 人
設問数	25 問
平均正答率	42.7 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	16	48.0
	主として「活用」	9	33.1
学習指導 要領の 領域等	世界の地域構成	3	50.2
	世界各地の人々の生活と環境	2	68.2
	世界の諸地域	5	48.3
	世界のさまざまな地域の調査	0	—
	日本の地域構成	1	34.0
	世界と比べた日本の地域的特色	2	27.2
	歴史のとらえ方	1	23.1
	古代までの日本	3	42.0
	中世の日本	7	34.1
	近世の日本	5	46.8
評価の 観点	社会的な思考・判断・表現	6	33.7
	資料活用 of 技能	7	40.2
	社会的事象についての知識・理解	12	48.5
問題形式	選択式	14	48.5
	短答式	5	44.1
	記述式	6	27.6

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 資料から、世界各地の人々のくらしの様子に関する情報を正しく読み取ることができる。
 - ・分布図から、世界の主な宗教の分布を読み取ること (2)(1)73.4%)
- それぞれの時代における外国との交流に関する知識・理解の定着に改善が見られる。
 - ・鎖国下における日本の対外関係 (6)(3)59.2%)
H27 中2 学力定着状況確認問題「鎖国下における日本の対外関係」57.6%
- 資料から必要な情報を読み取ったり、読み取った情報をもとに地域の特色等について説明したりすることに課題が見られる。
 - ・複数の資料から読み取ることができる情報をもとに、日本の農業の特色について説明すること (5)(3)24.6%)
 - ・資料から、東南アジアの地域的特色について読み取ること (3)(3)26.5%)
 - ・複数の資料から読み取ることのできる情報をもとに、アフリカの産業の課題について説明すること (4)(2)27.7%)
- 記述式問題に課題が見られる。
 - ・承久の乱あるいは刀狩について、その内容と結果について説明すること (9)(2)20.9%)
 - ・南蛮貿易、朱印船貿易の特徴について説明すること (7)(4)23.0%)

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

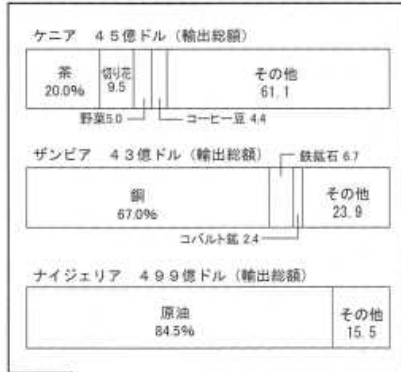
※ ○は成果、●は課題を示している。

社会【中学校2年生】

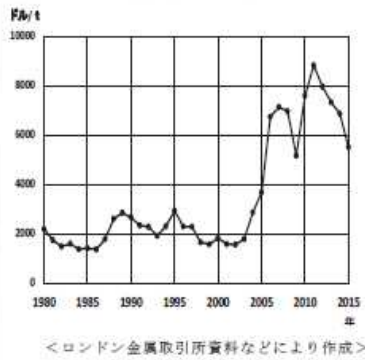
- 資料から必要な情報を読み取ったり、読み取った情報をもとに地域の特色等について説明したりすることに課題が見られる。

輸出品の種類が少ないと、その国の経済にどのような問題が生じるか。資料2から読み取ることができる内容にふれながら、資料1のザンビアを例にあげて説明しなさい。

資料1 アフリカ州の国の輸出品目(2009年)



資料2 銅の国際価格の推移



<UN comtrade などにより作成>

<ロンドン金属取引所資料などにより作成>

【正答例】
 ザンビアを例に挙げて説明すると、輸出の大部分を銅にたよっているため、価格の変動が輸出総額に大きく影響し、経済が不安定になりやすい。

中2 : 27.7%

- 記述式問題に課題が見られる。

D班の調べた三つの貿易の中から、①南蛮貿易か②朱印船貿易のどちらか一つを選んで、その貿易の特徴を説明する文を解答用紙の(い)に当てはまるように答えなさい。なお、貿易の特徴については、次の条件のうち、二つ以上がふくまれるように答えなさい。

- <条件>
1. その貿易に関わった人
 2. その貿易の相手国(地域)
 3. その貿易に使われた書類(証明書)
 4. その貿易で取引されたおもな品物

【正答例】 <「朱印船貿易」を選んだ場合>
 東南アジアの国々との貿易で、徳川家康らが、外国と貿易する大名や商人に渡航を許可する朱印状を渡して貿易を進めた。日本は銀を輸出し、中国産の生糸や絹織物などを輸入した。

中2 : 23.0%

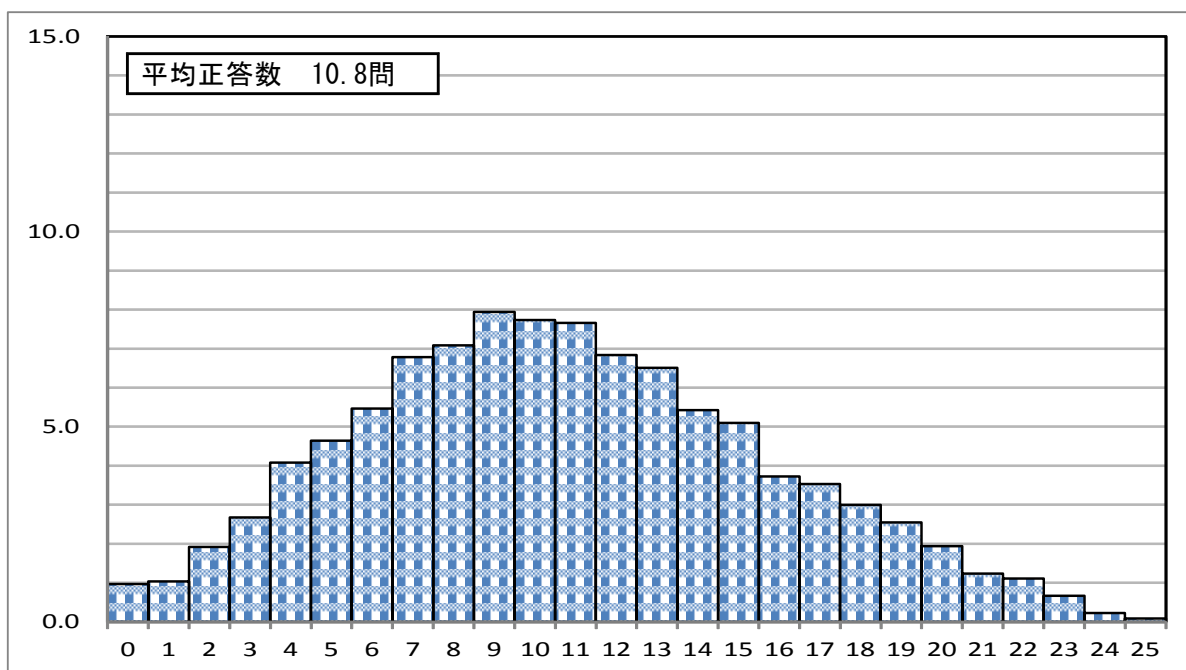
(4) 理科

【第2学年】

実施生徒数	10,617 人
設問数	25 問
平均正答率	43.4 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	19	40.0
	主として「活用」	6	48.4
学習指導要領の領域等	エネルギー	6	25.2
	粒子	8	40.5
	生命	6	64.2
	地球	5	37.8
評価の観点	科学的な思考・表現	10	38.2
	観察・実験の技能	3	38.1
	自然事象についての知識・理解	12	46.3
問題形式	選択式	8	33.0
	短答式	11	45.4
	記述式	6	48.4

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 実験のグラフから比例関係にあることを見出すことに成果が見られる。
 - ・おもりの重さとばねののびが比例していることを理解すること (6) (2) 82.8%
 - ・地震による災害について理解すること (8) (3) 83.0%

- 計算を伴う問題に課題が見られる。
 - ・溶媒と溶質について理解し、質量パーセント濃度を求めること (5) (1) 16.5%
 - ・浮力について理解すること (6) (3) 8.6%
 - ・音の速さを求めること (7) (1) 17.0%
 - ・音が伝わる時間と速さから、距離を計算すること (7) (2) 15.4%

- 実験データに基づいて類推することに課題が見られる。
 - ・化学変化によって、原子の種類が変化しないことを理解すること (1) (1) 17.8%

- 浮力による見かけの重さを読み取ることに課題が見られる。
 - ・フックの法則について理解することや、沈んでいる深さと浮力とは無関係であることを理解すること (6) (4) 20.9%

- 溶解度の違いによって起こる現象をとらえることに課題が見られる。
 - ・水溶液の性質及び溶解度について理解すること (1) (3) 38.1%)
H27 中3 全国調査「同じ量の水に同じ量の炭酸水素ナトリウムと炭酸ナトリウムをそれぞれ加えたとき、どちらが炭酸水素ナトリウムであるかを選ぶ」33.4%

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

理科【中学校2年生】

● 実験データに基づいて類推することについて課題が見られる。

1 砂糖水を加熱してできるべっこうあめはふくらまないのに、砂糖水に炭酸水素ナトリウムを加えて加熱すると、ふくらんでカルメ焼きができる。山口さんは、この理由を調べるため、炭酸水素ナトリウムだけを加熱してみることにした。図1のような装置を用いて、炭酸水素ナトリウムを乾いた試験管に入れて加熱したところ、気体と液体が発生し、白い粉末が試験管に残っていた。①気体を集めた試験管に石灰水を入れてよく振ると、石灰水は白くにごった。また、②加熱した試験管の口近くについていた液体に青色の塩化コバルト紙をつけると赤色に変化した。次の問いに答えなさい。

(1) このとき起こった化学変化が炭酸水素ナトリウムの分解のみであると考え、下線部①と②から炭酸水素ナトリウムに3種類の原子が含まれていたことがわかる。それら3種類の原子の記号をそれぞれ答えなさい。

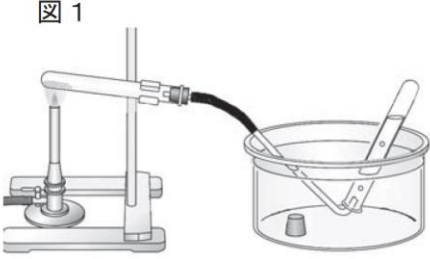


図1

【正答例】
H、C、O

中2：17.8%

● 沈んでいる深さと浮力とは無関係であることの理解に課題が見られる。

6 山口さんは、ニュートンばねばかりが、ばねの伸びとばねにかかる力の大きさの関係を利用した測定器具であることに興味をもった。この関係を確かめるため、図1のようにばねAに重りをつるすことでばねAに力を加え、そのときのばねAの伸びを調べた。表1は、このときばねAに加えた力の大きさと、ばねAの伸びを記録したものである。次の問いに答えなさい。ただし、100gの物体にはたらく重力の大きさを1Nとする。

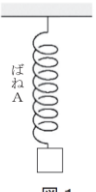


図1

ばねAに加えた力 [N]	0	2.0	4.0	6.0	8.0	10.0
ばねAの伸び [cm]	0	2.0	4.1	6.0	7.9	10.0

(3) 図3の模式図のように質量900gの物体XをばねAにつるし、イ～エのように物体Xを少しずつ水中に沈め、ばねの伸びを調べた。表2は、その結果である。表2の空欄①、②に入る値をそれぞれ求めなさい。

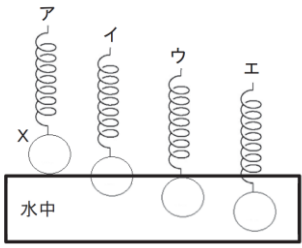


図3

	ア	イ	ウ	エ
ばねAの伸び [cm]	①	8.5	8.0	②

【正答例】
① 9.0
② 8.0

中2：15.4%

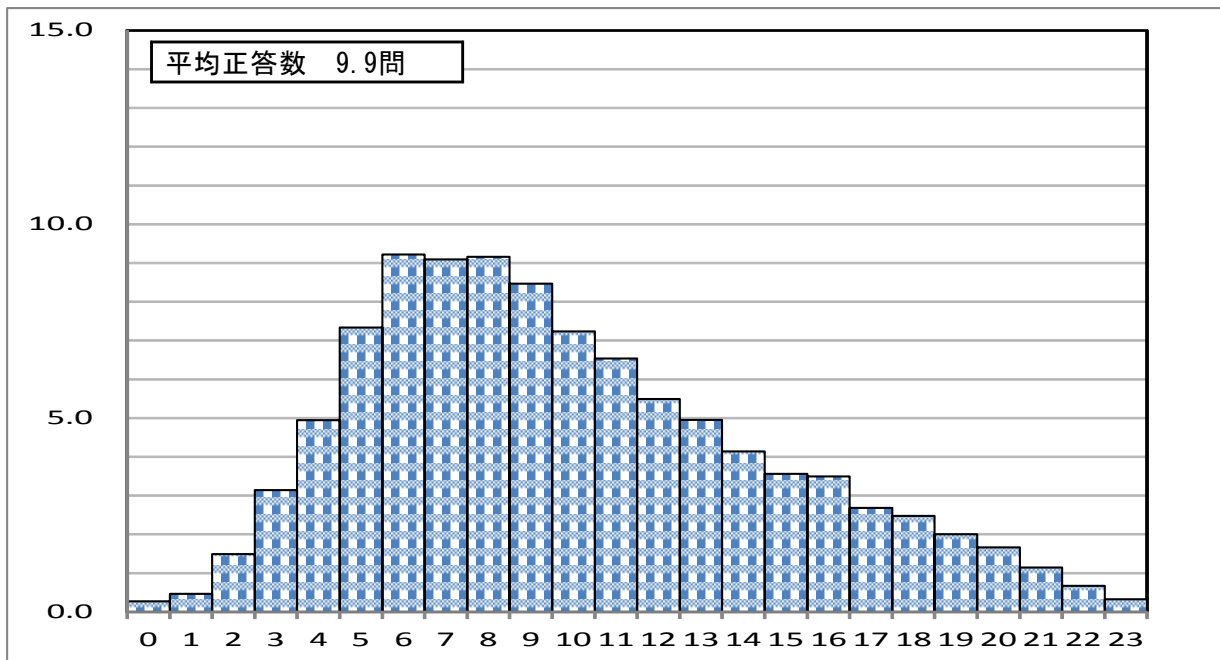
(5) 英語

【第2学年】

実施生徒数	10,984 人
設問数	23 問
平均正答率	42.9 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	18	49.0
	主として「活用」	5	21.6
学習指導 要領の 領域等	聞く	6	61.8
	読む	12	42.4
	書く	5	21.6
評価の 観点	外国語表現の能力	5	21.6
	外国語理解の能力	15	46.1
	言語や文化についての知識・理解	3	62.6
問題形式	選択式	14	54.9
	短答式	2	15.4
	記述式	7	26.9

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 英文を聞き、絵を見て状況を判断する問題については、相当数の生徒ができている。
 - ・絵の中の人物の動作を正しく表現した英文を聞き取ること (1)(2)95.3%

- 英語で書かれた情報を読み取り、英語で問われた質問に適切に答えることに課題が見られる。
 - ・“What can people do on October 27th?” という質問に “Learn about Ichiro’s life.” という答えを選ぶこと (5)(1)35.5%
 - ・“Was Saki’s seat 8C?” という質問に、“No, it wasn’t.” と書いて答えること (8)(1)イ8.1%

- 前後の英文から意味のつながりを考えて、適切に英語でやりとりすることに課題が見られる。
 - ・新作映画を話題にした対話を完成させるために、英語版か日本語版のどちらで観るかを英語で書くこと (7)(3)18.3%
 - ・“My mother was happy to hear that.” という表現の根拠となる登場人物のセリフを、本文の内容から判断して英文で書くこと (8)(2)18.7%

- 代名詞が何をさしているかを正確に判断して、英文を読み進めることに課題が見られる。
 - ・ケンジ(Kenji)が何について下線部②のように思ったのか。という質問に日本語で答えること (6)(4)21.7%

- あるトピックについて、自分の考えとその理由を英語で書くことに課題が見られる。
 - ・“_____ is a good season for me.” に具体的な季節を英語で書き、その理由を続けて英語で書くこと (8)(3)ア、イ 36.2%

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

英語【中学校2年生】

- 英語で書かれた情報を読み取り、英語で問われた質問に適切に答えることに課題が見られる。

5 次の掲示の内容を読み、下の質問に対する答えとして最もふさわしいものをア～エの中からそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

City Library

Book Day

Date : Thursday, October 27th, 2016
Place : City Library
Time : 4 p.m. – 6 p.m.

Come and meet *Kate Millar. She *wrote a book about Ichiro Suzuki, a *famous Japanese baseball player.

She will talk about the book and Ichiro's life in America. Her book has nice pictures of Ichiro and his *teammates' *comments.

Please visit our *website and get *information about the *event:
www.bigapple.citylibrary.com

(1) What can people do on October 27th?

- ア Take a picture with Ichiro.
- イ Visit Ichiro's house.
- ウ Write a book about Ichiro.
- エ Learn about Ichiro's life.

【正答】

(1) エ

中2 : (1) 35. 5%

- 前後の英文から意味のつながりを考えて、適切に英語でやりとりすることに課題が見られる。

7 次のそれぞれの対話文の () に合う4語以上の英文1文を書き、会話を完成させなさい。

(3) 陽子 [Yoko] はメアリー [Mary] と昼休みに話しています。

Mary : The *movie *"Night Train" is coming *soon. I'm very *interested in it.

Yoko : Me, too. Let's go and watch it together.

Mary : We can watch the English one and the Japanese one.

Yoko : ().

Mary : Nice! You will learn English *through the movie

【正答】 (例)

(3) I'll try the English one. / I'll watch the English one.

中2 : (3) 18. 3%